

まさよし通信

発行 鶴岡市議会議員
本間 正芳 [創政クラブ]

議員活動報告



6月議会 総括質問

防災施策・災害対応について

本間 本市は県内で最も多くの土砂災害警戒区域と特別警戒区域を抱えており、市民の安全確保が重要な課題と考えます。国、県、市がそれぞれどのような施策を実施しているのか伺います。



市長 国は土砂災害防止の基本指針を定め、県は急傾斜地の地形や地質、降水状況を調査し、土砂災害警戒区域を指定し、市は地域防災計画において情報伝達や警戒避難体制に関する事項を定めるとともに、土砂災害ハザードマップの作成、市民への周知を図ることとされています。また、ハード面の対策については、砂防法や地すべり等防止法に基づき都道府県が対策工事を実施します。

本間 危険な傾斜地の把握および、急傾斜地崩壊対策事業の取り組み、各対策事業の主体、現在実施されている事業について伺います。

市長 山形県知事が指定する本市の急傾斜地は令和6年3月時点で446か所あり、毎年、県と合同点検を行い実態を把握に努めています。現在、県は急傾斜地法に基づき由良、今泉、西目、中清水、下情水、朝日、大針地区で対策事業を進めており、大山公園内でも新規の対策事業を要望しているほか、合同点検の結果をもとに早急に対策が必要な危険箇所の事業化を検討しています。

看護人材の確保について

本間 市立荘内看護専門学校の新校舎の供用開始に伴い、定員を拡大するそうですが、全国的な人手不足のなか、地域の看護人材の確保についてどのような方策を講じているのか、また、他地域からの人材流入を促すための方策があるのか伺います。

市長 定員増員とともに、推薦入試対象校を広げ、社会人枠も新設します。鶴岡地

区医師会や鶴岡協立病院の奨学金制度や、県の奨学金返還支援事業に市が独自に上乗せをする、つるおかエール奨学金返済支援事業を行っており、看護専門学校や高校でも周知を進め、インターンシップなどを通じて就職希望者の拡大を図り、地域の看護人材確保に努める方針です。

鶴岡市中期観光戦略プランについて

本間 観光におけるタクシー不足が全国的な課題であり、日本版ライドシェアの動向を注視しつつ、まずはタクシー運転手の確保を早急に進める必要があると考えます。市の取り組みについて伺います。

市長 運転手不足に対応するため、従業員の二種免許取得を支援する助成制度を創設しました。ライドシェアについては、市内タクシー事業者から一般ドライバーと車両を管理する運行管理人員の不足が課題だと聞いています。今後は、公共交通に関する規制緩和の動向を注視しつつ、二種免許取得支援事業の利用拡大を図ることで運転手不足の解消を支援していきます。

雇用情勢について

本間 外国人材の重要性が増しており、外国人技能実習制度を改正し、長期的に産業を支える人材を確保するための育成就労制度が創設される見込みです。農林水産業などの産業ごとの人材不足の現状と、技能実習生を含む外国人労働者の雇用状況、外国人労働者の確保に向けた具体的な対策について伺います。

市長 現在、第1次産業では後継者不足が深刻であり、第2次、第3次産業でも有効求人倍率が高水準で、人手不足が続いています。鶴岡管内で働く外国人は前年より111人増えて588人となっています。技能実習生は20事業所で217人を受け入れます。今後は外国人労働者の労働環境の実態把握や育成就労制度に関する情

報収集を進め、国・県の動向を注視しながら新たな施策を検討していきます。

農業振興について

本間 昨年の夏は観測史上最も暑く、本市の農業生産に大きな影響を与えました。地球温暖化の進行に伴い、異常気象が常態化することを前提とした農業振興を図る必要があると考えますが、市長の見解を伺います。

市長 観測史上最高の平均気温を記録したため、農作物高温対策本部を設置し、被害状況の把握、水管理や適期収穫の対応策を周知しました。県やJAをはじめ関係団体との連携により、高温に対応した栽培技術の普及に努めています。また、資材導入支援等を通じて気候変動に対応できる産地の育成に努めてまいります。

スクールバスの更新について

本間 児童・生徒の減少に対応した教育デザインを見据えた取り組みが必要と認識しており、スクールバスの更新を工夫することで、効率化と予算の縮減を図ることができると考えます。今回のスクールバスの更新及び今後の整備更新について伺います。

教育長 今回は購入から16年以上が経過した車両で傷みが目立つ中型バス2台を更新することになり、地域の実情や校外学習でも使用する予定であることから、2台とも中型バスでの更新としました。更新の際には車両の小型化だけでなく、運行ルートの見直しなども含め工夫に努めてまいります。各年度の更新台数を平準化するように計画的な整備更新を進め、今後もスクールバスを確実に運行できるように努めてまいります。また、広く地域の役割について関係部署とも検討していきたいと考えております。



9月議会 一般質問

プール指導について

本間 令和元年、5年にも関連のある質問をしておりますが、再度伺います。本年7月5日、高知市の長浜小学校で4年生の男子が中学校のプールでの水泳授業中に死亡する事故が発生しました。この事故を受けて水泳の授業の賛否が議論されていますが、現行の学習指導要領では水泳の指導を通じて生きる力を育むことが重視されています。しかし、山形県では小学校教員の選考試験から水泳実技が削除され、泳げない教員が増えている可能性が指摘され、保護者の視点からは、泳げない教員が水泳を指導することに不安を感じる声もあります。また、学童相撲大会や水泳大会、陸上大会も中止され、夏休みの学校プール開放もほぼ実行されず、今後、子供たちの体力をどう保障するのか伺います。

教育長 小学校の水泳授業では、安全点検や気象状況の把握を含め、複数名体制で授業を実施しており、経験の少ない教員も先輩教員から学ぶ機会を得ています。また、民間クラブの指導者から指導を受けた学校では、若手だけでなくベテランの先生にとっても改めて泳法指導を学ぶよい機会になっています。さらに、救急救命講習会を通じて安全対策を強化し、事故の未然防止や安全対策の徹底を図っています。小体連の授業は、これまで大会に向けた取組で体力や泳力の向上を図っていましたが、今年度は体育の授業を充実させていくこと



に方針転換しました。陸上や水泳、スキーの指導者研修を行い、特に陸上研修会では元オリンピックを招き、体の使い方や陸上種目の指導方法の指導を受けました。今後とも体育活動の充実を支援してまいります。

本間 水泳授業における複数名の指導は昔から行われているものの、先輩教員からの学びは難しいと思います。ある程度泳げれば技術を盗むことも可能かもしれませんが、子供の指導と安全を考慮しながら、後輩教員の指導までは手が回らないのが現状です。授業後に時間を設けられればと思いますが、教育長の見解を伺います。

教育長 教員同士の学び合いだけでは不十分と考えており、市教育委員会は指導力と安全管理を向上させるために研修が必要だと考えています。具体的には、小体連が主催する指導者研修会への積極的な参加を促し、校内でのOJTが効果的に機能するように働きかけることで、子供たちが安全に水泳活動を行える環境を整えていきたいと考えています。

プール管理について

本間 ため池式や循環式など方式による違いがあるかもしれませんが、業者に委託している費用も含めて、小学校プールの年間管理費用を伺います。

教育長 年間経費は昨年度実績で総額約1,441万円です。水道料や循環浄化装置の保守点検、薬品購入、修繕費などが含まれます。小学校プールの半数以上は法定耐用年数を超えて老朽化しており、今後は修繕に加え循環浄化装置の更新経費(約3,000万円)が発生する見込みです。

水泳授業の民間委託について

本間 令和5年9月議会で民間施設での指導委託ができないか伺いました。現時点では利用実証試験が行われており、建て替え中の朝喝第五小学校やプールの状態が悪い上郷小学校、西郷小学校は、市民プールや県民プールを利用しています。児童や保護者、教職員からは、プールが冷たくなく清潔で安心して利用できる、技術が向上するなどの好意的な意見が寄せられています。そこで伺います。この3校の費用は。今後もこの方法が続けるのか。壊れている部分を修理して自校のプールで継続するのか。また、民間委託の可能性についても伺います。

教育長 朝五小の移動費用は昨年度74万9,000円、上郷小学校と西郷小学校の実験では施設入場料約40万円、スクールバスの臨時運行費約71万3,000円です。しかし、自校のプール利用の場合と比較して大きな差はなく、快適なプール環境と教員負担の軽減から、学校側や児童、教員にとってメリットが大きいと評価されています。来年度は今年度の結果を基に対象校の拡大や水泳期間の延長を検討していきたいと考えています。

本間 命が伴う水泳指導は外部委託が最善策であり、全国で進んでいるこの取り組みを進めるべきだと思います。外部委託すれば、現在できていない中学校2年生までの水泳授業も可能になると考えます。ずっと言い続けていますが、鶴岡市教育委員会は、水泳の授業に限らず教育課程全体を見据える力が不足していると思います。先を見詰める努力をお願いします。

その他、以下事項について質問をしました。

▶第五学区放課後児童クラブの安全管理と避難計画について

▶朝喝第五小学校校舎のプール・グラウンド等の工事について

治ってきました～



昨年度の2回の腎臓結石の手術を経て、今年4月の右肩腱板断裂手術(天童市の病院へ1ヶ月半入院)を経てようやく人並みの生活を送れるようになってきました。その間も、皆様から要望等たくさんいただきましたが、思うような解決に至らなかった部分もありご迷惑をおかけしました。まだ右手は肩までしか挙がりませんが、要望等には十分応えることができる状態まで回復しました。これからどんどん皆様のために働きたいと思いますので、どんどん要望や陳情をよこしてください。

その後について⑮

人工芝グラウンド

旧鶴岡病院の解体が見た目でも進んでいます。次の工程は整地になるのでしょうか。



ほん ま さよし

本間正芳 プロフィール

昭和31年生まれ/昭和44年 鶴岡市立朝喝第三小学校卒業/昭和47年 鶴岡市立鶴岡第二中学校卒業/昭和50年 山形県立鶴岡工業高等学校卒業/昭和55年 早稲田大学教育学部体育学専修卒業/昭和58年 山形県公立学校教諭(小名部小→朝三小→鶴岡市教育委員会→朝二小→黄金小教頭→大網小校長→朝日小校長→羽黒二小校長)/平成29年 鶴岡市立朝喝第四小学校 校長で退職/平成29年 鶴岡市議会議員選挙初当選(現在2期目)/平成31年 鶴岡地区サッカー協会副会長

【議会での主な役職】▶総務常任委員長 ▶議会運営委員 ▶広報広聴委員 ▶人口減少・地域活性化対策特別委員